



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」中小企業戦略コンサルタント五十嵐 勉 平成23年07月25日 第521号

佐々木監督から学ぶ

チームにおけるリーダーシップとは、チームの目標達成や課題解決を促進し、チームに起りうる崩壊の傾向を抑制し、チームの維持を強化するもの。

チーム側から考えると、チームが困難に遭遇してその脱出にあえいでいればいるほど、その困難を克服してくれる父親のように強力で頼りがいのあるリーダーを望む。また、チームが内部葛藤・対立に疲労困憊して、崩壊への危機をはらんでいる時には母親のように許容的であり寛容で、理解と支持を示し、すべてを受け入れてくれるリーダーシップを求める。

リーダーシップには、目標を掲げ、それを達成するために人を強力的に引っ張る力が必要。そうでなければ、目標は達成できない。ただ、それだけでは部下(ここでは選手)は心的抵抗が生まれやすくなり、チーム崩壊へと進む可能性が出てくる。ここでチームを維持する機能が必要になる。

チームは人間の集合体である。人間関係に異常な緊張が生じたり、お互いが敵意が生まれるとチームは崩壊をはらむようになる。

危機的状況や気詰まりな雰囲気の中でリーダーが冗談やユーモアに富んだ言葉をとばし、皆が爆笑してチームが一拳になごやかになることがある。チームの雰囲気が和気あいあいとしているとチームのメンバーが協力して意欲的に仕事に取り組むようになる。

「攻守にアクションするサッカーで世界の頂点に立つ」今年の1月に佐々木監督は明言した。現代サッカーは攻守の高速化と組織化が急速に進む。「アクションするサッカー」はその流れに沿った高度な組織プレー。しかし、「個人の力不足を組織で補うと、個人もチームも頭打ちになる」佐々木監督は、1対1の攻守など個人の強化でも妥協しなかった。

佐々木監督はムードメーカーでもある。おやしギャグで緊張をほぐし、場を和ませる。決勝のPK戦で4番手として勝利を決めたDF熊谷は「こんな舞台で蹴れるんだから楽しまなきゃ損」と言われて緊張がほぐれたという。

ビデオの映像を使って感情を高ぶらせ、選手全員の一体感を生み出した。(平成23年7月20日付、朝日新聞朝刊スポーツ欄から引用)

佐々木監督は目標達成と組織維持能力を兼ね備えたリーダーです。

ちょっと
気になる出来事

竹田陽一先生のセミナー「あなたも名講師になれる」に参加。

大事な所について疑問を持ったら、「大型の辞書や百科事典」で調べる。そうすると「原点や語源」がわかる。語源がわかると「説明に迫力」が出て、自信を持って説明できるようになる。またこれが「講師としての差別化」につながる。

話の内容と合った「例え話」をすると良い。物語的に説明すると、聞き手に一生忘れない印象を与えることができるようになる。真に人の心を打つのは、物語だけである。

「例え話」としては、「文学」「歴史」「自然科学」「人間学」など。

「町コン」の場合、「スポーツ」を加えたい。スポーツも経営戦略に活用できます。



一口メモ
成功の秘訣

出足をはやく

「出足をはやく、引き足をはやく」

これは世渡りの秘法である。

スポーツの世界では、ことのほかスタートがやかましい。

相撲では立ち上がり、しきりで、ほとんど勝負が決まる。

この意味では、朝起きは立ち上がりである。

時間が遅く、ぐずぐずしては、

その日一日をぼうにふる。

「丸山敏雄一日一話」より

●本「会社は潰れるようにできている」(中経出版) 発売中!

●会社成功塾 毎週日曜日、月曜日 午前10時~12時。

戦略社長塾 毎週土曜日 午前10時~12時。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

